

-----

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「各地におけるワクチン接種の実施状況 (2021年3月16日現在)」
- 4 「寄稿文」
- 5 「領事便り」
- 6 「広報・文化便り」
- 7 「政治」
- 8 「経済」

\* \* \* \* \*

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

日本では桜の開花が伝えられ始めました。モンリオールでも春の日差しが感じられるこの頃ですが、皆様、如何お過ごしでしょうか。

3月に入り、コロナウイルスの感染がようやく落ち着いてきた感じがします。また、カナダ全土でワクチン接種が大規模に進められていますが、ケベックでも最近では1日3万人を超えるペースでワクチンが接種されています。ワクチンの供給が十分になされれば、単純な計算ですが、ケベックでは1か月に百万人以上の市民がワクチン接種を受けられるようになります。続けられている隔離策とワクチン接種が効果をもたらし、一刻でも早く、私たちの生活が「普通」に戻れるようになることを祈念しています。

日本では3月は卒業式の季節ですが、モンリオールでも日本語補習校と日本語センターで生徒が卒業します。この1年、コロナウイルスのために対面授業がかなわず、オンライン授業という状況の中で、生徒達は大変な思いをして勉強を続けてきました。また、オンライン授業を余儀なくされた先生方や学校事務局の皆様のご苦勞やご父兄の支援も並々ならぬものであったと思います。皆様のご尽力のおかげで、こうして生徒たちが卒業を迎えることができ、本当に良かったと思います。コロナウイルスという逆境下でも勉強を最後まで継続することができたという経験は、将来、生徒たちにとって貴重な人生の糧となることでしょう。

2 総領事館からのお知らせ

2021年3月、4月の休館日は以下のとおりです。

- 4月2日（金） Good Friday
- 4月5日（月） Easter Monday
- 土・日曜日

### 3 各地におけるワクチン接種の実施状況（2021年3月16日現在）

（※在留邦人の皆様におかれては、必要に応じて医療機関などに御相談の上、各自の責任でワクチン接種について御判断頂くようお願いいたします。）

#### （1）ケベック（QC）州

・現在、モントリオールでは65歳以上、他の地域では70歳以上に対するワクチン接種を実施中。

予約が必須で、[Quebec.ca/vaccinCOVID](https://www.quebec.ca/vaccinCOVID) 又は電話 1-877-644-4545 で受付中。その際、ケベック州医療保険証が必要。手順の詳細は以下のページを参照。

<https://www.quebec.ca/sante/problemes-de-sante/a-z/coronavirus-2019/marche-a-suivre-inscription-vaccination-contre-covid-19/>

・3月22日からは、モントリオールの約350の薬局でも、モデルナ製ワクチンの接種が可能。3月15日からその受け付けを開始。

・ワクチンの副作用については以下のページを参照

<https://www.quebec.ca/sante/conseils-et-prevention/vaccination/vaccin-contre-la-covid-19/#c79170>

#### （2）ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州

・現在85歳以上を含む対象者に、地域の保健当局から連絡がされ、指定の日時と場所で接種実施中。

・2月26日より、70歳以上と介護職従事者の接種予約を受付中。以下サイトまたは電話 1-833-668-3930 又は 709-273-3930 で受付中。会場は病院、クリニック、薬局、移動式クリニック、企業、コミュニティベース会場。

・予約受付サイト

<https://covidvaccine.nlchi.nl.ca/>

・ワクチンの副作用については以下ページ左側一覧の「Get the Facts」参照。

<https://www.gov.nl.ca/covid-19/vaccine/>

#### （3）プリンスエドワードアイランド（PEI）州

・2月22日より、州全域で80歳以上を対象に接種実施中。

・3月11日より、75歳以上の接種予約を受付中。以下ウェブサイトまたは電話 1-844-975-3303 で受付。会場は現在州内5ヶ所。

・ 予約受付サイト

<https://pe.skipthewaitingroom.com/walk-in-clinic-provider/covid-vaccination-clinic>

・ 3月11日より、18～29歳の飲食業従事者のアストラゼネカ製ワクチン接種を予約受付中。以下ページにある提携薬局（州内複数ヶ所）に直接予約とのこと。

<https://www.princeedwardisland.ca/en/information/booking-your-covid-19-appointment-pharmacy>

・ ワクチンの副作用については以下ページの「After Getting the Vaccine」参照。

<https://www.princeedwardisland.ca/en/information/health-and-wellness/getting-covid-19-vaccine>

#### （４）ノバスコシア（NS）州

・ 2月22日より80歳以上を対象に接種を開始。現在も80歳以上の予約を受付中。会場は病院または特設会場。

・ 3月16日より、63歳および64歳の人にアストラゼネカ製ワクチンの接種予約を受付開始。予約は以下ウェブサイトまたは電話 1-833-797-7772 で受付。会場は薬局やクリニック。

予約受付サイト <https://novascotia.flow.canimmunize.ca/en/2020202112019>

・ 接種予約関連詳細

<https://novascotia.ca/coronavirus/book-your-vaccination-appointment/>

・ ワクチンの副作用については以下ページの「Before you arrive at your appointment – Coronavirus Vaccine Factsheet」参照。

<https://novascotia.ca/coronavirus/vaccine/>

#### （５）ニューブランズウィック（NB）州

・ 3月12日より、85歳以上に対するワクチン接種の予約受付を開始。州内200ヶ所の提携薬局の中から各自が直接予約。手順の詳細は以下ページ参照（予約受付サイトではない）。

<https://www2.gnb.ca/content/gnb/en/corporate/promo/covid-19/nb-vaccine/Get-Vaccinated/vaccine-pharmacy.html>

・ ワクチンの副作用については以下ページ内「Approved COVID-19 vaccines – Learn more about the COVID-19 vaccines:」参照。

<https://www2.gnb.ca/content/gnb/en/corporate/promo/covid-19/nb-vaccine.html>

4 寄稿 ～「日出ずる国での52年間」 叙勲者 ゲェタン・ラバディ c.s.v. より～  
聖ヴィアートル修道会の私たちの同胞たちが働いていた京都の洛星高等学校に手伝いに行くために日本の地を踏んだのは、1968年9月のことでした。その先どうなる

かは何も分からない状況でした。知っている日本語はひとつもありませんでしたが、自分の最善を尽くすため、神と我々の仲間の思し召しで送り込まれたのだということは分かっていました。最初の挑戦は言語を学ぶことでした。なんという挑戦だったことでしょう！とても大きな挑戦でした。私は真の宣教師を目指していましたし、日本の人たちともコミュニケーションを取りたかったので、言語の習得に全ての時間を費やし、全力を尽くしました。このことが私が出会った全ての人々の心を開いたものでした。

約一年半後には、英語の教師として洛星高等学校に採用されました。私は若い生徒たちが大好きでしたし、彼らも自分のことを慕ってくれているようでした。生徒たちが英語を理解するようになるのを見ると、私は彼らにますます期待し、彼らもそれをありがたく思ってくれているようでした。生徒や教師たちからの評判も良かったのですが、すぐ翌年には英語だけでなく宗教の授業も受け持つようお願いされたことはとても驚きました。

私の日本語はまだ本当に基礎レベルでしたが、挑戦をあきらめるようなことは決してしないと誓ったものでした。それは大きな挑戦でした。生徒たちは私の日本語を笑いましたが、なんとか彼らの心に触れることに成功し、私の生きがいやおそらく彼らにとっても現在の生きがいとなるような価値観を彼らと共有することが、私にとってすぐに大きな喜びとなりました。

たゆまなく努力を続けてきたことで、教師、学科長、クラス担任を任されるだけでなく、同高等学校の校長を16年間、その後、理事長を16年間務めることとなりました。校長を務めている間、活動の範囲は広がり、京都府私立中学高等学校連合会、大阪私立中学高等学校連合会、日本私立中学高等学校連合会などの会合にも参加しました。与えられたいかなる職務も決して断ることはしませんでした。私はいつでも喜んで奉仕しました。どこへ行っても感謝され、喜ばれ、敬意を払われているように感じました。

私が洛星高等学校に採用になった時には、クリスマスに関する劇が4作品しかありませんでした。ほかの教師や職員とともに、何年もかけて、さらにより生き生きと、より美しく表現できるよう心血を注ぎました。装飾品、衣装、サントン・ダンス、ハンドベル、全ての劇は独特の色を帯び、今では毎年この8作品の劇を見ようと多くの来訪者が集まります。50年経った今でも、当時私が行った振り付け方法がそのまま使われていることには驚きを覚えます。

しかしながら、現役の生徒たちや卒業生たちにとって最も誇りに思うことは、学校が50周年記念を迎え、新生したことでした。当時私は校長でしたが、私たちのこの夢と願いを叶えられたのは、言うまでもなく全ての職員の皆さんのおかげでした。この協力関係こそが、今日、輝かしい現代学校として知られている洛星高等学校を築き上げたの

です。

私の宣教活動について少しお話したいと思います。私の最大の願いは、キリスト教の教えを生徒たち、教師、生徒のご両親たちに知ってもらうことでした。私がそこに多くの時間と労力を費やしたことは言うまでもありません。洛星高等学校で数年を過ごした後、私は生徒の両親たちに対して聖書の教えを始めました。40年以上に亘り、多くのご両親たちに私の教えに参加していただけたことは、とても驚くべきことでした。私は彼らと非常に楽しい時間を過ごすことができました。新しいメンバーを迎える懇親会や、クリスマスの集まりには、常に80人以上が集まりました。

学校の職員や生徒、卒業生、生徒の両親たちへの私の宣教活動によって、キリスト教の教えを知ってもらい、価値を見出してもらえたようならば、それは私にとって最高の贈り物です。常に私の心は、私が日本で奉仕し、愛着を持った全ての人々とともにあります。

この場をお借りして、京都で過ごした長年の間、私のことを心から信じてくださった皆さん、若者への教育に長年携わったことに対し、叙勲を受章する運びとなったことについて働きかけを行ってくださった全ての方々に、感謝の意を表したいと思います。洛星高等学校の事務局の皆さん、職員の皆さん、卒業生、ご両親、学校に係る全ての皆さんに対して感謝いたします。今回の叙勲については、夢にも見なかった大変名誉なことではありますが、これも私の家族や宗教コミュニティー、ケベック、そして私の友たちに帰属するものです。

ゲェタン・ラバディ C. S. V.

## 5 領事便り

### (1) 領事窓口の開館時間

当地における新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、当館の感染予防を徹底しつつも、在留邦人の皆さまのニーズに適切にお応えしていくため、昨年4月1日より、以下のとおり領事窓口時間を短縮していますので、改めてお知らせいたします。

#### ●領事窓口の受付時間

10:00～15:00（昼12:30～13:30を除く）

※9:00～10:00及び15:00～17:00につきましても、電話による照会（緊急の場合）、メールによる照会に対応しております。

#### 【来館時の注意点】

昨年3月25日よりケベック州政府の要請を受ける形で、当館が入居するビル管理会社側は、入居テナント従業員以外の入館を1階受付において制限しています（土日祝日等の休館時対応と同様の措置）。

当館へ来館される方につきましては、1階受付において、氏名とともに在モンリオール日本国総領事館への訪問理由を告げることにより、入館を許可されることとなっています。

#### （2）2021年度の領事出張サービスについて

新型コロナウイルス流行の影響により、現時点においては領事出張サービスの実施を見合わせている状況です。

今後、各州の状況を注視しつつ、行動・移動制限が緩和されれば、領事出張サービスの再開を検討しますので、在留邦人の皆さまにおかれましてはご不便をおかけしてありますが、ご理解賜りますよう宜しくお願いいたします。

#### （3）在留状況確認調査（ご協力のお願い）

海外において災害等の緊急事態が発生した際に、在留邦人の皆様の安否確認や必要な情報を提供する等のための連絡が迅速に行えるよう、在留届の記載内容を確認させていただきます。

#### ア 「在留届」の記載事項に「変更」の無い方

在留確認を記録するため、名前（ローマ字）と「変更無し」の一語をご返信ください。

イ 引き続き管轄内にお住まいで「住所・電話番号・滞在予定期間等」に変更がある方、既に日本に「帰国」されている方、または他の在外公館の管轄区域に「転出」された方

以下のいずれかで手続きをお願いします。

（ア）インターネット（オンライン在留届（ORRネット））から在留届を提出された方

オンライン在留届（<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>）での手続きをお願いします。

※ログイン用パスワードを忘れた方は、システムのメニュー「パスワードを忘れた方」ボタンからパスワードの再登録をお願いします。

※「帰国日」または「転出日」が不明な場合はおおよその年月日でも結構です。

（イ）在留届用紙に記入して届け出られた方

「変更届」( <https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/henko.xlsx> ) または「帰国・転出届」( <https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/kikoku.xlsx> ) を提出 (Eメール、Fax、郵送、来館) してください。

※「帰国日」または「転出日」が不明な場合はおおよその年月日でも結構です。

(補足) 上記エクセルシートを利用する代わりに、本メールの返信として「帰国日」または「転出日」と「帰国・転出者の氏名」を記載していただいても結構です。

(ご連絡先) 在モンリオール日本国総領事館 領事班 在留届担当

ホームページアドレス: [https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

電話: 1 (514) 866-3429 ★10:00-12:30、13:30-15:00★

FAX: 1 (514) 392-1639

メール: [zairyu@mt.mofa.go.jp](mailto:zairyu@mt.mofa.go.jp)

住所: 1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2 CANADA

#### (4) 在外選挙の実施について

2021 (令和3) 年4月、衆議院議員補欠選挙 (北海道第2区)、参議院議員補欠選挙 (長野県選挙区)、参議院議員再選挙 (広島県選挙区) が実施される予定です。

##### ●衆議院議員補欠選挙 (北海道第2区)

当館では在外公館投票は実施いたしません。

##### ●参議院議員補欠選挙 (長野県選挙区)、参議院議員再選挙 (広島県選挙区)

当館において在外公館投票を実施する予定です。

詳しくは、当館ホームページや外務省ホームページをご覧ください。

#### 【当館ホームページ】

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/election\\_20210315\\_0.pdf](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/election_20210315_0.pdf)

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/election\\_20210315.pdf](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/election_20210315.pdf)

#### 【外務省ホームページ】

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ov/page25\\_002033.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ov/page25_002033.html)

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ov/page25\\_002034.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ov/page25_002034.html)

#### (5) マギル大学小西先生主催 COVID-19 家族サポートグループプロジェクトのご案内

内

お子さんのいらっしゃる方々へ、

今回、モンリオールアカデミー会の協力とカナダ政府の社会科学研究協議会の支援のもとに、マギル大学大学院の小西千秋 准教授率いる研究チームが、今なお続く新型コロナウイルス感染症流行をふまえて長期の家族支援グループプロジェクトを実施することとなりました。よってこのプロジェクトへの参加者を募集しています。

このプロジェクトでは、日頃の生活行動や範囲が非常に限られた昨今の状態の中で自分と家族、特に子どもとともに健康をどう維持していけば良いのか、心と関係のケアの観点からサポートグループ形式（対面ディスカッションを通して参加者が問題を分かち合い、お互いに助け合い、学んでいくというプロセス）を通して紐解きながらその有効性を追求していきます。ストレス解消にどんな方法がある？ コミュニケーションのやり方の違いでこんなに変わるの？ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う人種差別どう向き合えば？ 社会的、情動的スキルって何、大事ななの？そしてそれらにどんな役割があるの？

このサポートグループ（対面式ディスカッショングループ）は6人から10人ほどの小グループで、週1回のセッションが合計6回行われます。カナダ在住で、新型コロナウイルス感染症の影響による体験を共にシェアし、助け合おうという意欲のある方、合計6回のセッションに参加できる方を募集しています。

第1回目のセッションは3月に行われる予定です（参加状況により4月開始の可能性もあります）。

このプロジェクトへの参加は任意です。参加に興味がある方は、以下のリンクにアクセスお願い致します。

[https://mcgillecp.ca1.qualtrics.com/jfe/form/SV\\_8jqpwRdzFg58jc2?Q\\_Language=JA](https://mcgillecp.ca1.qualtrics.com/jfe/form/SV_8jqpwRdzFg58jc2?Q_Language=JA)

この研究の詳細につきましては、研究責任者の小西千秋准教授 ([chiaki.konishi@mcgill.ca](mailto:chiaki.konishi@mcgill.ca)) にお問い合わせください。どうぞよろしくお願い致します。

研究責任者：小西千秋 准教授

マギル大学大学院人間発達心理学研究科

3700 McTavish Street Montreal, QC, H3A 1Y2, Canada

Eメールアドレス：chiaki.konishi@mcgill.ca

## 6 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を ( culture@mt.mofa.go.jp ) までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

### (1) 当館ツイッターアカウント

当館ツイッターアカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

<https://twitter.com/JaponMontreal>

### (2) 日本関連行事等のお知らせ

\* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

\* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

### ●ラヴァル大学図書館エスパス・ジャポン：オンライン—日仏語ランゲージエクステンジ

ケベックと日本をインターネットソフトウェア Discord を使って繋ぎ、日本語・仏語それぞれの言語の学習を楽しみながら深めます。中級から上級レベルの方が対象です。1月18日より隔週月曜19時～21時

参加費：無料

問合わせ・申込先：佐藤祥子氏 sachiko.sato@crchudequebec.ulaval.ca

### ●Festival International du Film sur l' Art (FIFA)

日本映画も上映されます。

期間：3月16日（火）～28日（日）

<https://www.artfifa.com/en>

### ●ナデシコン（オンライン）

ケベック市で毎年開催されているポップカルチャーイベントです。今年はオンラインです。

期間：3月27日（土）・28日（日）

<https://www.nadeshicon.ca/en/>

## 7 政治

### (1) ケベック（QC）州

・2月1日、カナダオリンピック協会（COC）は、早ければ2030年代の夏季大

会招致に向け、モントリオールとトロントが共同で立候補する可能性を検討。

・ 2月16日、州内複数の医療機関ネットワークは、看護師1700人と職員200人を求めてフランス、ベルギー、ブラジル等海外で採用活動実施。

・ 2月24日、ルゴウ政権は、小規模な内閣改造を実施。シャレット(Benoit Charette)環境・気候変動対策大臣が、新設ポストである人種差別対策大臣を兼任する。またルクール(Lucie Lecours)氏が景気回復対策支援のため経済担当大臣として閣僚入り。

#### (新型コロナウイルス関連)

・ 2月3日、連邦政府は、ノヴァヴァクス(Novavax)製ワクチンを今後モントリオールで生産する意向と発表。生産施設は建設中であり、同社製ワクチンはカナダ未承認。

・ 2月8日、州全域でショッピングモール、美容室、美術館等が再開。警戒レベルが赤からオレンジに引き下げられた6地域では、夜間外出禁止開始時刻が21:30に繰り下げられ、ジムやレストランのダイニングスペースも再開。

・ 2月8日、新型コロナウイルスによる州内の死者数が1万人に達する。

・ 2月10日、モントリオール保健局は、英国変異株の疑いのある症例23件について調査中であると発表。州内では他にアビティビ=テミスカマング地域で南アフリカ変異株2件を確認済み。

・ 2月15日、(全国)陸路でのカナダ入国者に対する陰性証明提示義務付け開始。

・ 2月16日、ルゴウ州首相は、3月の学校の春休みに向けた規制の一部緩和を発表。警戒レベルが赤の地域でも一定の条件の下、プール、屋内スケート場、映画館の再開を許可。オンタリオ州と隣接するウタウエ地域の警戒レベルは赤からオレンジに引き下げられる。

・ 2月17日、州政府は、PCR検査に比べて精度は落ちるものの検査結果がすぐに出る「ラピッドテスト」を企業向けに使用開始。

・ 2月18日、州保健研究所(INSPQ)は、国内で使用中のRNAワクチンは1回のみ接種で80%の効果があることを確認。

・ 2月22日、(全国)空路でのカナダ入国者に対する到着時PCR検査と、検査結果が出るまで連邦政府指定ホテルで最長3日間の待機義務付けが開始。

・ 2月26日、ドルーアン(Mylene Drouin)モントリオール保健局長は、モントリオールにおける英国変異株に関連する感染例は現状全体の8~10%だが、いずれ同変異株が主流になるとみていると発言。

・ 2月26日、デュベ州保健大臣は、ワクチン接種を受けたことを証明する「ワクチンパスポート」の導入を州政府が検討していると発言。

#### (2) ニューファンドランド・ラブラドル(NL)州

##### (州総選挙関連)

・ 2月11日、州選挙管理委員会は、セント・ジョンズ地域の新型コロナ感染状況悪

化を受けたスタッフの大量辞職により委員会が正常な活動を続けるのは無理であると判断、州内全40選挙区のうちセント・ジョンズ地域18選挙区で対面による投票の延期を決定。18選挙区では郵送による投票用紙申請期日を13日、返送期日を25日に延期。前日に発表していた「ドライブスルー投票」も中止。

- ・2月12日、州選挙管理委員会は、全選挙区で対面による投票中止を決定するとともに、郵送による投票用紙申請期日を15日、返送期日を3月1日に延期。

- ・2月14日、郵送による投票用紙申請期日が19日、返送期日が3月5日に延期に。野党進歩保守党とNDPは、今回の混乱に対応するためチョーク (Bruce Chaulk) 州選挙管理委員会委員長との対面による協議を求めているが、チョーク氏と与党自由党は出席を拒否。

- ・2月19日、郵送による投票用紙返送期日が3月12日の消印まで有効に。(3月9日、返送期日は3月25日に延期に。)

(新型コロナウイルス関連)

- ・2月8日、クラスター発生を受け、セント・ジョンズ地域で各種規制が強化される。

- ・2月10日、セント・ジョンズ地域で「サーキットブレーカー」措置が施行。集まりに関する規制がさらに強化され、ジムやその他スポーツ施設、映画館、バーは閉鎖される。学校は遠隔授業に切り替え。

- ・2月11日、1日の新規感染者数がパンデミック始まって以来最も多い100人を記録。

- ・2月12日、州政府は、最近の急激な感染拡大は英国変異株によるものであったと発表。州全域で警戒レベルを最大の5 (ロックダウン) に引き上げ。家族以外との集まり禁止、不可欠業種以外の店舗や施設は閉鎖。

- ・2月23日、州政府は、3月1日より、ラブラドルに住む75歳以上の全ての人へのワクチン接種を開始すると発表。

- ・2月27日、セント・ジョンズを含む Avalon 地域を除く州の警戒レベルが4に引き下げられる。

- ・2月27日、州政府は、ワクチン接種計画を発表するとともに、70歳以上でワクチン接種を希望する全ての人の事前登録受付を開始。

(3) プリンスエドワードアイランド (PEI) 州

- ・2月4日、キング州首相が内閣改造を発表。5閣僚のポストが入れ替わる。

- ・2月25日、州議会開会。

(新型コロナウイルス関連)

- ・2月6日、薬局における新型コロナワクチンの接種を可能にするための改正法が施行。

- ・ 2月13日、州内で初めて英国変異株を確認したと発表。2月初めの感染例。これでカナダの全州で変異株が確認された。
- ・ 2月22日、州全域で80歳以上の全ての人へのワクチン接種を開始。
- ・ 2月23日、シャーロットタウン空港において、4週間の予定で入州者に対するラピッドテストとPCR検査実施のパイロットプロジェクト開始。ラピッドテストを活用した感染対策戦略策定が目的。
- ・ 2月28日、各種規制が強化される「サーキットブレーカー」フェーズが再施行される。

#### (4) ノバスコシア (NS) 州

- ・ 2月2日、州政府は、20の新たな自然保護区を発表。これにより州政府は、州土の13%を自然保護区にするという目標を達成。
- ・ 2月6日、マクニール (Stephen McNeil) 州自由党党首兼首相の引退にともなう自由党党首選の結果が発表され、イェイン・ランキン (Iain Rankin) 氏が党首兼次期首相に決定。ランキン氏はマクニール政権で環境大臣や州土・森林大臣を務めた。
- ・ 2月16日、退任したマクニール州首相による、「カナダの政治家は中国批判を避けるべき」との発言について、元カナダ大使や人権活動家から非難の声。
- ・ 2月23日、ランキン州首相と16人の閣僚による新内閣が発足。ランキン氏が党首選中に訴えてきた気候変動対策と社会格差対策を反映し「メンタルヘルス・依存症対策」「公正・人種差別対策」の専門事務局が新設された。

#### (新型コロナウイルス関連)

- ・ 2月5日、集まりに関する規制の一部緩和。
- ・ 2月9日、NL州からの入州者に対する14日間の自主隔離義務付けが再開。
- ・ 2月22日、ハリファックスのIWK医療センターで80歳以上へのワクチン接種が開始。
- ・ 2月23日、英国変異株を新たに3例確認。2月初めの感染例。州内で計6例目となる。
- ・ 2月27日、ハリファックスとその周辺地域で集まりや移動に関する規制が再度強化される(3月5日にほぼ全面解除される)。

#### (5) ニューブランズウィック (NB) 州

- ・ 2月11日、カナダ言語コミュニティ研究所 (ICRML) が州公式言語委員会のために、2016年の国勢調査結果を元に実施した調査によると、母語が英語と回答したのは州民の65%と50年前から同じ水準であるのに対し、仏語と回答したのは過去最低となる32%弱であった。カナダで唯一、英仏語両方が州の公式言語である同州のバイリンガル率は15年前から停滞し33%、そのうち3分の2が仏語を母語とする人であった。また職場における英語使用率は90%近くと上昇傾向が続いてい

る。

・ 2月19日、NL州総選挙の大混乱を受け、ポフェンロス (Kim Poffenroth) NB州選挙管理委員会委員長は、コロナ禍の中で実施される選挙における状況の急変に備えた明確なルールの早期策定を州議会に要求。州では1年延期されていた自治体選挙が5月10日に予定されている。

(新型コロナウイルス関連)

- ・ 2月9日、警戒レベルがゾーン1 (モンクトン) で赤からオレンジに、ゾーン4 (エドマンズトン) で「ロックダウン」から赤に引き下げられる。
- ・ 2月18日、州政府は、増えつつある変異株の存在と、1回接種でも一定の効果があることを理由に、ワクチンをできるだけ早くできるだけ多くの人に接種するため、当初2回目分として取っておいたワクチンも1回目分として使用する方針に変更。
- ・ 2月19日、ゾーン4の警戒レベルが引き下げられ、州全域がオレンジに。
- ・ 2月22日、英国変異株を新たに1例確認。2月初めの感染例。州内で計6例目。

## 8 経済

(1) QC州

- ・ 2月1日、Googleは、クラウドゲームサービス「Stadia」コンテンツ開発拠点として2019年に開設したモントリオールスタジオの閉鎖を発表。
- ・ 2月2日、仏ゲーム開発企業 Quantic Dream は、初のパリ以外の拠点となるモントリオールスタジオ開設を発表。
- ・ 2月3日、スウェーデンのゲーム企業 Embracer は、ケベックシティにスタジオを持つ米企業 Gearbox を買収。
- ・ 2月4日、アエロポール・ド・モンリアル (ADM) は、パンデミックによる減便の影響で2020年の損失が3億加ドルになる見込みであると発表。
- ・ 2月5日、ルゴ州首相は、Apuiat (コート・ノール地域) 風力発電プロジェクトを復活させると発表。6億加ドル、発電量200メガワットの同プロジェクトは前自由党政権が進めていたが、2018年にルゴ-CAQ政権に交代してから凍結されていた。
- ・ 2月5日、豚肉加工大手オリメルは、Ange-Gardien (モンテレジ地域) 工場で250人の増員を発表。
- ・ 2月10日、州政府は Nouveau Monde Graphite 社に対し、グラファイトの採掘から加工までを行うための施設建設を許可。グラファイトは電気自動車向けバッテリーの原料として需要が高まっている。ベカンクールに建設予定の同施設が稼働すれば、同社は欧米最大のグラファイト生産者となる。
- ・ 2月11日、ボンバルディアは、州内700人を含む従業員1600人の解雇と、米カンザス州で組み立てられている小型ビジネスジェット「Learjet」の製造中止を発表。
- ・ 2月12日、連邦政府は、エアカナダによるトランザット買収を承認。
- ・ 2月17日、パンデミックにより、ハイドロケベックの2020年の純利益は前年比6.2億加ドル減の23億加ドルで、州政府に支払われる配当金は2.4%減の17

億加ドルとなった。

・2月18日、ユニクロは、3月26日に州内第2号店をラヴァルのCF Carrefour Lavalに開店すると発表。

・2月22日、州統計局は、2020年にQC州で20.8万人、カナダ全体で98.6万人の雇用が失われたと発表。

・2月22日、米国防総省は、企業債権者調整法適用下にあるアビティビ=テミスカミング地域のLithium Amerique du Nord (LAN)のEvolution Metals社(本社フロリダ州)による買収を支持。リチウムは、米国の国際武器取引規則(ITAR)で戦略的鉱物の一つに指定されている。

・2月23日、モンリオール・インターナショナル(MI)によると、2020年のモンリオール圏への外国投資はコロナ禍でも22億加ドルと8000人の雇用創出をもたらした。MIはまた2021年のモンリオール圏のGDP成長率は、カナダの都市の中で最も高い5.4%となると予測。

・2月24日、日産自動車は、VERSA(日本名TIIDA)の不具合をめぐる集団訴訟で弁護士事務所LPC Lawと和解合意。州上級裁判所が承認すれば、2007~2012年にQC州で同型車を購入またはリースしたドライバーに最大で180万加ドル支払われる可能性がある。

・2月25日、カナダのエネルギー企業ブルックフィールド(Brookfield)とエンブリッジ(Enbridge)は、ガティノー地区で天然ガスインフラに水力により生産されたグリーン水素を注入する共同プロジェクトを発表。ブルックフィールドが20メガワットの電解槽を、エンブリッジが15キロメートルのパイプラインを建設し地域の天然ガス供給網につなげる計画。

・2月26日、ケベック州貯蓄投資公庫(CDPQ)は、2020年の収益率が不動産ポートフォリオのパフォーマンス低下の影響で7.7%とベンチマークを下回ったと発表。純資産は3650億加ドル。

## (2) 大西洋州

・2月10日、格安航空のフレア(Flair)が沿海州への乗り入れを発表。2020年に予定していた計画がコロナ禍で延期となっていたもの。ハリファックスからはトロント、オタワ、ウォータールーへ、NB州セントジョンとシャーロットタウンからはトロントへの便が5月~6月に運航開始予定。

・2月18日、ウエストジェットは、3月19日より6月24日までの予定で、ハリファックス-セント・ジョンズ線を含む国内4路線の運休を発表。

## (3) NL州

・2月25日、海洋スーパークラスター(OSC)は、ノルウェー企業グリーグ(Grieg)の子会社グリーグNLがメアリーズタウン(ニューファンドランド島南部)に建設中のオープンネット式サケ養殖場において、陸上から養殖場を遠隔監視・管理できる海洋セ

ンサーを開発するプロジェクトに2700万加ドルを支出すると発表。OSCは海洋テクノロジーのイノベーションを目指す産官学連携イニシアチブで、連邦政府が選定した国内5つのスーパークラスターのうちの一つ。

#### (4) PEI州

・2月19日、州政府は、2017年に州議会で可決済みの州水資源管理・保護のための水法(Water Act)を6月16日に施行すると発表。同法に基づく規則によると、PEI大学が行う農業研究プロジェクトを除き、新たな大容量灌漑用井戸の設置は許可されない。2002年から同州で施行中の灌漑用井戸のモラトリウムについて一部のジャガイモ生産者等は解除を強く求めてきたが、モラトリウムは維持される。

#### (5) NS州

・2月1日、ダートマスの潮汐発電開発企業 Sustainable Marine Energy Canada は、国内初という浮体式潮力発電プラットフォームをファンディ湾 Grand Passage に試験設置。同プロジェクトは連邦政府から2850万加ドルの支援を受けている。同社は3年以内に2つのプラットフォームを追加し、より潮汐力の強いファンディ湾 Minas Passage で9メガワットの発電を目指す。

・2月3日、シペクネカティック(Sipekne' katik) ミクマク・ファーストネーションは、同コミュニティが独自に行う「生計を立てるための漁業」の枠組みでのロブスター販売合法化を州政府に求め、州上級裁判所に提訴。現状同州では、連邦政府から付与された漁業ライセンスを持たない者との収穫物売買は違法となる。17日、ポトロテク(Potlotek) ミクマク・ファーストネーションも同様の理由で州政府を相手取り提訴。

・2月16日、エネルギー企業エメラは最新の決算発表の中で、2050年までに温室効果ガス排出量ネットゼロを目指すと表明。電力会社ノバスコシアパワーを始め、北米で電力事業や天然ガス施設を保有するエメラは、2040年までに実現を目指すNS州内の石炭火力発電所閉鎖については、QC・大西洋州のグリーン電力相互接続網「アトランティックループ」プロジェクトの進展次第だとしている。

・2月24日、ランキン州首相は、アーヴィング州環境大臣とともに、省エネ住宅と電気自動車へのリベートプログラムに1900万ドルの支出を発表。電気自動車については、新車に3000ドル、中古車に2000ドル、電動自転車に500加ドルのリベートが支払われる。ランキン州首相はまた、2030年までに州で使う電力の80%を再生可能エネルギーにすると発表。前政府が掲げていた2020年までに40%を再生可能エネルギーにするという目標は達成できていない。

#### (6) NB州

・2月10日、カナダ独立事業主連盟(CFIB)によると、今後の新型コロナ感染状況や消費者需要の変化等のために、州内の中小企業の4社に1社が2021年中に廃業の危機にある。

- ・ 2月10日、ヒッグス州首相は、小型原子炉（SMR）開発支援のため、セントジョン企業 ARC Clean Energy に2000万加ドル支出すると発言。
- ・ 2月17日、エアカナダは、同社が発表済みの大量解雇の一環としてセントジョンのコールセンター従業員約100人を解雇。

-----  
[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なされないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

[emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp)

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、[emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp) までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下のURLをクリックすると閲覧いただけます。  
[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/mailmag.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html)

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（[www.kantei.go.jp](http://www.kantei.go.jp)）

外務省ホームページ（[www.mofa.go.jp/mofaj/](http://www.mofa.go.jp/mofaj/)）

在カナダ日本国大使館ホームページ（[www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](http://www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)）

当館ホームページ（[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)）

当館 Facebook（[www.facebook.com/JapanConsMontreal](http://www.facebook.com/JapanConsMontreal)）

当館 Twitter：@JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当（[emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp)）までご相談ください。

■-----■